

## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年8月6日

上場会社名 株式会社SANKYO 上場取引所 東  
 コード番号 6417 URL <https://www.sankyo-fever.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 筒井 公久  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長 (氏名) 大島 洋子 TEL 03-5778-7777 (代)  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,351	△21.8	△596	—	△155	—	△93	—
2019年3月期第1四半期	14,521	30.7	1,375	—	1,827	—	1,460	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △2,363百万円( —%) 2019年3月期第1四半期 670百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△1.16	—
2019年3月期第1四半期	17.99	17.06

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	376,897	328,924	86.9
2019年3月期	399,585	337,377	84.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 327,593百万円 2019年3月期 336,045百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
2020年3月期	—				
2020年3月期(予想)		75.00	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	99,000	11.8	16,000	△24.8	17,000	△23.8	11,000	△17.8		135.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社グループは事業計画を年次で管理しており、通期での開示のみとしております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	89,597,500株	2019年3月期	89,597,500株
2020年3月期1Q	8,422,134株	2019年3月期	8,421,994株
2020年3月期1Q	81,175,399株	2019年3月期1Q	81,176,100株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が底堅く推移するとともに、雇用・所得環境も改善が続いているものの、諸外国の通商問題、海外経済の不確実性などから、企業の業況判断には慎重さもみられ、先行き不透明な状況にあります。

当パチンコ・パチスロ業界では、2018年2月に改正遊技機規則が施行され、現在設置されている旧規則機が新規規則機に完全に移行する2021年1月末まで、残り2年を切る状況となりました。改正遊技機規則や自主規制の緩和により、遊技機メーカーにおいては、遊技金額を抑えつつ多様なゲーム性を有する商品など、改正遊技機規則等に準拠した商品開発を積極的に進め、新規規則機への入替需要の掘り起こしに取り組んでおります。また、遊技機メーカー・パチンコパーラーを中心に業界全体で依存症問題への対応としてさまざまな取り組みを進めており、既存ファンに加え、新規・休眠ファンにも手軽に安心して楽しんでいただける遊技環境の整備に取り組んでおります。

こうした中、当第1四半期においては、各メーカーの旧規則機の販売は一巡し、新規規則機の販売が中心となりましたが、人気の高い旧規則機を中心に、検定・認定の有効期間満了前の入替には慎重さがみられ、パチンコ・パチスロともに新規規則機の導入は低調となっております。一方、パーラーによる段階的・計画的な新規規則機への入替が求められている中、パチンコ機においては、新規規則機の大型タイトルがリリースされ、パチスロ機においては、改正遊技機規則等が適用されたいわゆる6号機のヒット商品も出始めており、本格的な入替需要を前に明るい兆しも見え始めております。当社グループにおきましては、パチンコ機2タイトル（リユース機を除く）、パチスロ機1タイトルを発売いたしました。コアタイトルとなるパチンコ機の発売は第2四半期以降に予定しているため、当第1四半期の売上は低水準にとどまりました。

以上の結果、売上高113億円（前年同四半期比21.8%減）、営業損失5億円（前年同四半期は13億円の営業利益）、経常損失1億円（前年同四半期は18億円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失93百万円（前年同四半期は14億円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、売上高70億円（前年同四半期比44.4%減）、営業損失2億円（前年同四半期は32億円の営業利益）、販売台数18千台（前年同四半期は33千台）となりました。

新規販売タイトルは、SANKYOブランドの「フィーバースーパー戦隊」（2019年4月）、「フィーバーマクロスフロンティア3 Light Middle ver.」（2019年5月）の2タイトルであります。

#### (パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、売上高26億円（前年同四半期比688.4%増）、営業利益7億円（前年同四半期は8億円の営業損失）、販売台数は6千台（前年同四半期は8百台）となりました。

新規販売タイトルは、SANKYOブランドの「パチスロ ボンバーパワフルⅢ」（2019年5月）1タイトルであります。

#### (補給機器関連事業)

補給機器関連事業につきましては、売上高14億円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益88百万円（同133.7%増）となりました。

#### (その他)

その他につきましては、売上高2億円（前年同四半期比40.8%増）、営業損失74百万円（前年同四半期は92百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,768億円であり、前連結会計年度末と比べ226億円減少しました。これは主に、現金及び預金が110億円増加となりましたが、有価証券が150億円、受取手形及び売掛金が138億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が40億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は479億円であり、前連結会計年度末と比べ142億円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が63億円、未払法人税等が42億円、未払金（流動負債「その他」に含む）が35億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ84億円減少しました。これは主に、配当金の支払い60億円、その他有価証券評価差額金が22億円減少したことによるものであります。この結果、純資産は3,289億円となり、自己資本比率は2.8ポイント増加し、86.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	104,847	115,847
受取手形及び売掛金	30,627	16,798
有価証券	184,999	169,999
商品及び製品	75	138
仕掛品	118	402
原材料及び貯蔵品	2,682	3,350
その他	8,767	5,113
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	332,115	311,648
固定資産		
有形固定資産	40,440	40,454
無形固定資産		
のれん	45	23
その他	180	157
無形固定資産合計	225	180
投資その他の資産		
投資有価証券	19,233	15,965
その他	7,970	9,047
貸倒引当金	△20	△20
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	26,803	24,613
固定資産合計	67,470	65,248
資産合計	399,585	376,897
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,246	4,850
電子記録債務	10,042	8,877
未払法人税等	4,372	75
賞与引当金	791	1,268
その他	7,311	4,358
流動負債合計	33,763	19,429
固定負債		
新株予約権付社債	20,026	20,021
退職給付に係る負債	4,799	4,878
資産除去債務	62	62
その他	3,555	3,580
固定負債合計	28,444	28,543
負債合計	62,208	47,972

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,750	23,750
利益剰余金	330,707	324,525
自己株式	△38,785	△38,786
株主資本合計	330,512	324,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,460	3,192
退職給付に係る調整累計額	73	70
その他の包括利益累計額合計	5,533	3,263
新株予約権	1,331	1,331
純資産合計	337,377	328,924
負債純資産合計	399,585	376,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	14,521	11,351
売上原価	6,361	5,279
売上総利益	8,160	6,071
販売費及び一般管理費	6,784	6,667
営業利益又は営業損失(△)	1,375	△596
営業外収益		
受取利息	46	49
受取配当金	318	352
その他	88	39
営業外収益合計	454	441
営業外費用		
その他	2	0
営業外費用合計	2	0
経常利益又は経常損失(△)	1,827	△155
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	1,827	△155
法人税、住民税及び事業税	638	13
法人税等調整額	△271	△75
法人税等合計	367	△61
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,460	△93
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,460	△93



四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,460	△93
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△807	△2,267
退職給付に係る調整額	17	△2
その他の包括利益合計	△789	△2,270
四半期包括利益	670	△2,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	670	△2,363
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,700	334	1,342	14,377	144	14,521	—	14,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	12,700	334	1,342	14,377	144	14,521	—	14,521
セグメント利益 又は損失(△)	3,254	△819	37	2,472	△92	2,380	△1,004	1,375

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,064	2,635	1,448	11,147	203	11,351	—	11,351
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,064	2,635	1,448	11,147	203	11,351	—	11,351
セグメント利益 又は損失(△)	△238	718	88	568	△74	493	△1,089	△596

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイルコンテンツサービス、不動産賃貸、ゴルフ場運営、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(重要な後発事象)

当社は、2019年8月6日開催の取締役会において、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。）第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議いたしました。

なお、詳細につきましては、本日公表の「自己株式の取得及び自己株式の公開買付けに関するお知らせ」をご参照ください。